

## 地域が支える祭「なら<sup>とうかえ</sup>燈花会」

NPO 法人 なら<sup>とうかえ</sup>燈花会の会 会長 山本 <sup>もとお</sup>源生

### 1. 地域づくりの方針・目的

奈良には、古くからの伝統行事やまつりが、数多くあります。そのすべてが、社寺はもちろんのこと地元の人々が支え、育んできたからこそ今があります。なら燈花会も、単なるイベントではなく、奈良の地元の人々が支え合って、盛り上げて100年以上続く、夏の奈良の代表的なまつりに成長させたいと考えています。

### 2. 取り組み内容

世界遺産に囲まれた奈良公園一帯を、約一万五千個のろうそくの明かりで幻想的に演出する為、毎日お手伝いいただける当日ボランティア延べ約3000名の募集や、広報、警備、会場ごとの演出、設え、ライブの開催、来年のロウソク代の為の、募金活動やオリジナルグッズの販売、地元商店街や社寺との打ち合わせや折衝等、奈良公園や環境問題に配慮したリサイクルろうそくの再生…とにかくたくさんあります。

### 3. 苦労点・達成度等

たくさんの人に参加して頂くまつりですので、調整する事務方や、指導するリーダーがたいへんです。仕事をもちながら会を運営していくむずかしさを感じております。

### 4. 効果・反響等

昨年70万人 今年60万人以上の来場者がありました。マスコミ関係にも、多々取り上げていただきました。毎年、たのしみにして来場していただくリピーターが多いのも燈花会の特徴です。経済波及効果は25億円以上（地元経済センター発表）

### 5. 今後の課題等

少ない予算の中で、効果的な広報活動や会場の充実を模索しております。

又、ボランティアの募集や会員の管理、開催中の問い合わせ等、事務局の仕事が膨大で、数名では対応できないのが現状です。来場者増加に伴い警備、安全対策も充実していかなければなりません。そして何より大切なのが、地域の人々の燈花会に対する意識ではないでしょうか。この祭りは、夏の奈良には無くてはならないまつりなので、皆で支援しよう！支えていこう！そういった意識が、市民レベルで、根づくことが大切だと思います。

燈花会が、地域の人たちの奈良の夏の宝となりますように願って。



## 第7回「なら燈花会」来訪者数

**開催期間 平成17年8月6日（木）～15日（土）**

**点 灯 午後7時～午後9時45分**

**会 場 奈良公園一帯（猿沢池と五十二段、浮見堂と鷺池、浅茅ヶ原、浮雲園地、国立博物館、春日野園地、東大寺、14・15日のみ春日大社参道）**

**来訪者数 約 602,000人（10日間）**

**来訪者最多日 平成17年8月15日（日）152,000人**

**参考 過去の来訪者数**

**平成11年来訪者数 170,000人（9日間）**

**平成12年来訪者数 305,000人（10日間）**

**平成13年来訪者数 280,000人（9日間）**

**平成14年来訪者数 390,000人（10日間）**

**平成15年来訪者数 355,000人（7日間）**

**平成16年来訪者数 704,000人（11日間）**

## 会場点灯風景

浮雲園地

満天のエリア



浅茅ヶ原

竹灯りのエリア



浮見堂

舟灯りのエリア



猿沢池と五十二段

ほたるのエリア





## 春日野園地 燈花茶(とうかふえ)



## ろうそくの点火まで



当日サポーター集合



まずはカッフ並べ



お弁当タイム



カッフにろうそく  
を浮かべる



いざ点火



ぼくたちもガンバルぞ！



消灯・撤収 今日も終わった



## 各担当に分かれて仕事



警備担当



広報担当



燈花茶担当



販促担当

## イベント



早咲きの日

障害者のためのプレイベント



火入れ式



ライブ



一客一燈

## 販促グッズ



ガイドブック



ちょうちん



絵はがき



ストラップ



うちわ



携帯電話クリナー

LEDピンバッチ



## 事前準備

### カップ洗い



### カップ袋詰め



他に 協賛金集め、サポーター集め、ポスター張り・のぼり設置 etc.